第７回　番組審議会　議事録

1. 開催日　令和８年１１月１６日　17 時から 18 時まで

2. 開催場所　FM はたらんど　分室

3. 委員出席　委員総数５名　出席委員数４名
　＜出席予定氏名＞
　　杉本　絢哉／野元　道子／寺尾　真吾／山崎　文久
　　欠席者：友永　公生
　＜FM はたらんど＞
　　久野　秀明／山本　崇史

4. 議題
　① 審議番組の放送内容について
　② 次回開催日程について
　③ その他

５．審議番組の内容について
　　審議番組　「放課後シマントーーク！」
　　審議対象回　2026 年 10 月 19 日（月）17：00～18:00
　　提　　供：四万十市役所　幡多信用金庫　中村商工会議所　土佐幡多の会
　　　　中村高校同窓会　東京支部

　番組の内容
　　パーソナリティ　中村高校生徒３名（２年生）　山本倫
　　番組趣旨：地元の高校生を中心に、学校生活など自ら発信したいことを企画する番組
　　放送日：月１回　不定期　夕刻時間帯の１時間

【意見交換】
（委員）学生がラジオという情報発信のツールを感じつつ、とにかく楽しんでいる様子が印象的だった。最初は、ガチャガチャしている感もあったが、後半に向けて慣れていった。子どもがいる親世代としても、このような場は楽しく聴けたのではないかと感じた。

（委員）地域密着型のコミュニティ FM として、このような番組が学生が育つ場の一つとしてあることはよいこと。

（委員）地域名のイントネーションが気になった場面があった。

（委員）通学風景の描写のシーンもあったが、もう少し聴けたらよかったかも。

（事務局）通算５回目で、最初は、はたらんどスタッフが主で進めていたが、最近では、学生が主で進めている。どちらがいいのか。

（委員）特別編としての位置づけであり、レギュラー番組でもないから、ある程度は自由でよいかと。

（委員）学生たちには、リスナーがどのようなことに興味があるのか意識を向けてもらえれば。
文化祭などのイベントについては、聴けてよかった。

（委員）どちらかといえば、ワチャワチャして終わったという印象。リスナーへの配慮も必要かと。
テーマを設定していった方がしまるのではないか。

（委員）イヤホンで聞いていて突発的な笑いは大変だった。

（委員）学生たちに同録を一度聞いてもらったらよいかと。

（事務局）突発的な笑いについては、ミキサーの技術面で対応困難なところもある。出来る限り努力したい。このほか、放送全般についてはいかがか。

（委員）番組の数やジャンルなど幅広くなっている印象。

（事務局）パターンとして、ゲストを読んでクロストークというものが多い傾向。
ビジネス・農林業・文化・芸術・スポーツ等各ジャンルに特化した番組へのスポンサーがついていただけると有難い。

（委員）スポーツや農業などの番組など、ニーズが比較的高いかも。

【その他】
（事務局）１２月２０日（日）３周年祭を行う予定。市役所でブースを構えてリスナーさんが来られたら記念品をお渡ししたりする予定。

６．次回開催日程について
第８回番組審議会は２０２７年春頃に開催予定で、詳細はおって調整

７．審議機関の答申又意見の概要の公開
番組審議会の概要は、FM はたらんどホームページで公表する予定。